

令和4年第3回定例会

議案審査特別委員会における主な議案質疑

議案審査特別委員会は、議長を除く15名の議員で構成。

(9月6日開催)

議案第42号 かすみがうら市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定

【議案の概要】

市民が手数料以外の市の歳入（使用料等）をキャッシュレス決済によって納付できる環境を整備するものです。

Q 本整備によって具体的にどのようなことが可能になるのか

A 現在構築しております、いばらき電子申請サービスを使った行政手続のオンライン化に伴いまして、その中で、例えば住民票等を取り寄せる場合に、住民票の交付手数料プラス郵送料などを合算して、オンラインのキャッシュレス決済で支払いが出来るようになります。現在、いばらき電子申請ではクレジットカード、PayPay、LinePayの3種類の決済サービスに対応しております。

議案第44号

令和4年度かすみがうら市一般会計補正予算（第7号）

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額に、それぞれ5275万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ200億5884万1000円とするものです。

Q 467万5000円を計上する電子図書館サービスとは



A 電子図書館とは、あじさい館の図書館や千代田公民館の分館に行かなくても、インターネットを通じて個人所有のパソコンやタブレット、スマートフォン等から電子書籍を無料で借りて読むことができるサービスです。全ての紙の図書が電子図書へ移行するのではなく、図書環境の選択肢を増やすことを目的として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、電子図書館の導入を進めるものです。電子書籍は1,000タイトルを導入し、令和5年1月からの利用開始を予定しております。

Q 地場産品販路拡大DX推進支援等業務委託とは

A コロナ禍において、市内事業者の従前の流通販売網以外にオンラインでのダイレクト販売など、DXの視点を取り入れた新たな販路の拡大を支援するため、市内事業者の活用実態状況を調査し、現状の分析と想定される課題等を洗い出して支援するための業務委託です。



▲牛渡地区の急傾斜地

Q 災害対策に要する経費200万円とは

A 令和3年度から茨城県が着手しました牛渡・柳梅地区内の茨城県単急傾斜地崩壊対策事業の令和4年度分詳細設計費用に対する市町村負担金となります。本件につきましては、令和3年度から現地調査、地質調査に入っておりまして、今年度は予備設計、詳細設計を行い、来年度の埋蔵文化財調査の後、工事に着手するものです。